

目次

写真図版（和田家資料「内留」嘉永四年七月から嘉永五年まで全四巻）
発行によせて
お源様の御婚礼―浦谷伊達家への御引越し―

写真図版・解説 「内留」嘉永四年七月から嘉永五年
嘉永四年

七月

一日 名越御祈禱（巻一―2）……………2

三日 御要書漢巻（巻一―5）……………5

七日 七夕の御祝儀・お貞殿枕引きの祝儀（巻一―7）……………7

十一日 幡守明神御祭礼（巻一―12）……………12

十二日 御四季施（巻一―14）……………14

十五日 松火御覧（巻一―18）……………18

十九日 八幡宮宮司御取子（巻一―22）……………22

八月 旭山様御百ヶ日御法事（巻一―34）……………34

十五日 明月（巻一―41）……………41

二十九日 旭山様御遺物金、御付女中へ頂戴成し下さる（巻一―48）……………48

九月 一日 老女巻野、勤勞御賞下しおかる（巻一―50）……………50

五日 二階作り新御家作立て初め（巻一―54）……………54

八日 お従様御鉄漿初め御支度（巻一―56）……………56

十三日 明月（巻一―58）……………58

十九日 八幡宮御祭礼（巻一―62）……………62

二十五日 御茸狩り（巻一―66）……………66

二十六日 寺社御参詣（巻一―68）……………68

二十八日 貞力様、若殿様御同様の御取り扱い（巻一―70）……………70

八月 八日 お安様御箸初め（巻一―73）……………73

十七日 お姚様御不快（巻一―81）……………81

十月 十七日 お姚様御死去（巻一―82）……………82

十一月 十三日 お貞殿所持品、盗難の疑い（巻一―86）……………86

十一月

十三日 蚊屋御釣初め（巻二―66）……………100

二十三日 お源様・お従様の和歌、天神宮へ御奉額（巻二―78）……………86

二十五日 天神宮御祭礼（巻二―79）……………81

二十七日 旭山様御一周忌、二夜三日御法事（巻二―82）……………82

二十九日 殿様御上府（巻二―85）……………85

五月 二日 殿様、中田にて屋形様の御迎え（巻二―88）……………88

五日 端午の御祝儀（巻二―92）……………92

十七日 殿様御帰着（巻二―99）……………99

二十日 お貞殿、御男子様出産（巻二―10）……………101

二十六日 御七夜御祝儀、啓之進様と名付けらる（巻二―16）……………106

六月 一日 氷室の御祝儀（巻二―21）……………111

七日 お安様御誕生（巻二―23）……………113

十一日 お貞殿、枕引きの祝儀（巻二―26）……………117

十二日 御要書漢巻（巻二―28）……………119

十八日 お安様、御神参り（巻二―31）……………125

二十二日 御五霊様御法事（巻二―33）……………127

七月 一日 御祝儀（巻二―37）……………129

六日 七夕御飾り（巻二―38）……………131

七日 七夕の御祝儀（巻二―39）……………133

十一日 幡守明神御祭礼（巻二―43）……………139

十五日 中元の御祝儀・松火御覧（巻二―46）……………145

十七日 お源様御保持金（巻二―48）……………147

八月 十八日 御茸狩り（巻二―55）……………153

九月 二十三日 啓之進様御箸初め（巻二―64）……………159

十月 二十八日 お貞殿、浦谷御供に付、老女仰せ付けらる（巻二―66）……………165

浦谷へ御供の面々、帰着（巻二―70）……………171

写真図版・解説 お類様浦谷へ御引越より御婚禮に付奥方始末御留……………295

十二月 十七日 瑞台院様御誕生日の記録見つかる（巻二―21）……………105

晦日 瑞台院様七回御忌御法事（巻二―26）……………110

二日 瑞台院様御胎衣葬り上げ（巻二―28）……………112

三日 御役替え（巻二―29）……………113

十五日 お源様、御殿へ御引き移り・御油締め御祝儀、お従様御鉄漿初め御祝儀（巻二―36）……………120

お源様・お従様、長刀御稽古師範に御入門（巻二―39）……………123

貞力様、御嗣子御願済み御披露目御祝儀（巻二―40）……………124

南御新宅御普請御成就（巻二―41）……………125

煤掃き（巻二―44）……………128

嘉永五年 正月 元日 年始の御祝儀（巻二―2）……………135

八日 殿様へ赤貝献上（巻二―7）……………140

十一日 御習い初め・御内証御圖取り（巻二―9）……………142

十四日 年縄取り・団子挿し・生海鼠引き・水祝儀（巻二―12）……………145

二十八日 御両親様御祭（巻二―18）……………151

晦日 お貞殿二十九歳の御年直し（巻二―20）……………153

二月 二日 姫君様（藩主夫人）、御卒去のお知らせ（巻二―21）……………154

四日 殿様御上府御留守中の配置仰せ出でらる（巻二―35）……………168

五日 殿様御上府（巻二―36）……………169

九日 屋形様御名代として備見院様御尊骸御迎え（巻二―40）……………173

十八日 伊達飯坂の温泉、御取寄せ（巻二―43）……………176

十九日 備見院様、松島において御供養（巻二―48）……………176

二十七日 上巳の御祝儀（巻二―49）……………181

三月 十三日 お源様・お従様、蕨山御出で（巻二―55）……………182

二十日 お源様・お従様、斗蔵山・小田七葉師御参詣（巻二―59）……………188

二十一日 味噌煮方の材料（巻二―61）……………192

四月 一日 騎射御覧（巻二―65）……………194

四月 一日 騎射御覧（巻二―65）……………198

語句解説

人物解説

引用参考文献

凡例

- 一、本書は、和田家資料「内留」嘉永四年七月から嘉永五年までと「お類様浦谷へ御引越より御婚禮に付奥方始末御留」を解説したものである。
- 二、和田家資料「内留」嘉永四年七月から嘉永五年までは、全四巻二百九十三丁。大きさは、巻一・巻二が縦25cm×横16・5cm、巻三・巻四が縦26cm×横16・7cm、全紙堅二つ折り・四つ目綴。各巻の丁数・資料番号は次の通り。
巻一「嘉永四年七月朔日より十月廿一日迄」 八十四丁（資料番号748-88）
巻二「嘉永四年十月十七日より五月廿八日迄」 四十九丁（資料番号748-89）
巻三「嘉永五年正月元日より五月三日迄」 八十九丁（資料番号748-90）
巻四「嘉永五年五月五日より十一月朔日迄」 七十二丁（資料番号748-91）
「お類様浦谷へ御引越より御婚禮に付奥方始末御留」は、八十三丁。B4用紙に複写したもの。原本の大きさは、およそ縦30cm×横19・5cm（推定）。〔資料番号748-139〕
- 三、所載は、いずれも角田市郷土資料館である。
- 四、文書の解説は、上段（写真図版・中段（翻刻、読み下し）下段（語句解説）で構成した。下段（語句解説）で、項目のみ記載されているものは、調査中のものである。
- 五、読み易くするため、適宜読点・並列点を加えた。台頭・平出・欠字は、原文に合わせた。
- 六、翻刻は、出来るだけ原文で使用されている字体を用いた。読み下しは、常用の字体、仮名づかいを用いた。
- 七、助詞の「に（二）」は（者・態）、「へ（正）」は（て（而）と「并」は、小さい文字にした。
- 八、漢字の繰り返し記号「。」は「同」。「方」は「より」、変体仮名は、常用の仮名を用いた。
- 九、本文の行間に書き加えられた文字は、本文に組み込んだ。本文余白に追記された部分は「余白（上）」「余白（下）」などと記し、条や頁の終わりに記した。
- 十、文意の通じない文字や間違っている文字には「ママ」、疑問の箇所には「カ」と記した。
- 十一、付け加えた文章や欠損部分、字数が明確な場合、文字数分の□や影印で、不明な場合は、判読できなかった文字が推定される場合は、□の中に文字を記した。
- 十二、「ママ」は、筆者が文字を見せ消し（もとの文字が読めるように訂正した消し方）にしたことを表す。重ね書きで訂正された文字は、後に書かれた文字で判読した。
- 十三、解説では、年号を数え年で表した。
- 十四、年間を通した主な出来事を目次としてまとめた。
- 十五、主な語句解説・人物解説・引用参考文献は、巻末にまとめて記載した。
- 十六、本書の執筆・編集は、前角田市郷土資料館館長新庄屋元晴・角田市郷土資料館調査員氏家若子が担当した。